



平成 24 年度

未来への挑戦推進事業の概要

平成24年度当初予算の規模

 **一般会計当初予算案** **7,075 億円**
(前年度比 +147億円 2.1%増)

➤ **震災からの創造的復興を積極的に推進**

3年連続のプラス予算 (一般歳出+2.7%)

平成24年度未来への挑戦推進事業

1	暮らしと産業の復興・創生	34.8億円
2	発進、青森力	27.6億円
3	雇用の創出・拡大	66.8億円
4	あおもり型セーフティネット	56.3億円
	(地域別計画推進事業など)	4.9億円

計 190.4億円

1

暮らしと産業の復興・創生

- 復興プラン・復興ビジョンに基づき、創造的復興を推進
- 震災をバネとし県民の暮らしと本県産業の両面で、更なるレベルアップを



震災直後の八戸港

鉱工業生産指数

74.1 (3月) → 105.6 (8月)

観光客入込数 (前年比)

59.1% (3月) → 114.8% (9月)

りんご輸出量 (前年比)

13.9% (4月) → 95.4% (11月)



館鼻岸壁の朝市は7月3日再開

1 次代につなぐ暮らしの創造 31.8億円

省エネや防災意識の高まりを踏まえて、災害に強く、美しいふるさとを次代に引き継ぐ取組を強化する

2 震災をバネとする産業振興 3.0億円

再生可能エネルギーや水産加工のOEM生産など、震災後の環境変化に対応する産業振興を図る

防災公共の推進に係る主な取組

防災公共とは

東日本大震災の教訓を踏まえた**危機管理体制の強化**

孤立集落をつくらないという視点にたつ**インフラ整備**

県民の生命と財産を守るソフト・ハード対策を一体的に行う取組

生命を守る

「自助の力」の強化

- ✓ 地域防災計画の見直し
- ✓ 避難路確保のためのインフラ整備

財産を守る

さらなる安全・安心の追求

- ✓ 東日本大震災による各種指針の見直しに対応したインフラ整備

ソフト対策の充実

- ✓ 津波シミュレーションや、地震動・液状化の解析

- ✓ 八戸港の事業継続計画の策定
(2月補正)

ハード対策の充実

- ✓ 緊急時の農道・林道の活用検討

- ✓ 臨時ヘリポートの候補地選定

- ✓ 応急仮設住宅の建設候補地選定

エネルギーリスクに強い暮らしづくり

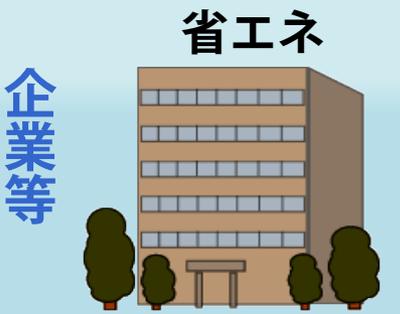
■家庭の消費電力見える化・省エネ促進事業



家庭の消費電力の見える化

- ✓ モニター世帯における消費電力の見える化の実践
- ✓ ポータルサイトへの解析結果の掲載と県民の意識啓発

■エネルギーリスク緊急対策・省エネ設備等導入促進事業



企業等の省エネトータルサポート

- ✓ 金融機関等と連携し企業等の省エネ対策を事前診断からアフターフォローまでサポート
- ✓ 省エネフェア等の開催



■再生可能エネルギー等導入推進事業（国庫・3次補正）

公共施設等への再生可能エネルギー等の導入補助

課題

電力供給不足の長期化の懸念

事業効果

家庭や事業所における省エネ意識の高まり

自立・分散型のエネルギー導入の加速

めざす姿

エネルギーリスクに強く環境に優しい生活の確立

多様なエネルギーポテンシャルの活用

本県が有するエネルギー分野の高いポテンシャル

再生可能エネルギー分野
などにおける市場の拡大

風力発電導入量
全国第1位

メガソーラー稼働
(2011年12月)

八戸LNG輸入基地
建設 (2015年稼働)

再生可能エネルギーを活用 した産業振興

■ あおもり風力産業創出推進事業

風力発電事業やメンテナンス分野等における
県内企業の参入促進

■ 再生可能エネルギー産業ネットワーク形成推進事業

再生可能エネルギー産業の成長を支える
産学官金のネットワーク形成

■ バイオコークス産業創出促進事業

りんご搾り粕などを原料とした
バイオコークスのビジネス化

次代を担うエネルギー産業 の創出

■ スマートグリッド関連産業創出事業

関連産業等の集積・県内企業の参入をめざした
スマートグリッド実証試験の誘致

■ 海洋エネルギー関連産業創出事業

三方を海に囲まれた本県の特長を生かす
海洋エネルギーの可能性検証

■ LNG利活用産業創出促進事業

新たな産業の創出に向けた
LNG冷熱等の活用方策の検討

(戦略キーワード：雇用の創出・拡大)



- 心の絆、人との絆、地域の絆を大切にし、将来を見据えた元気のある青森県づくりを

- 国内外から東北が注目される今こそ、青森県の評価を高めるチャンス



台湾での青森りんごキャンペーン

1 人財育成と地域力再生 19.9億円

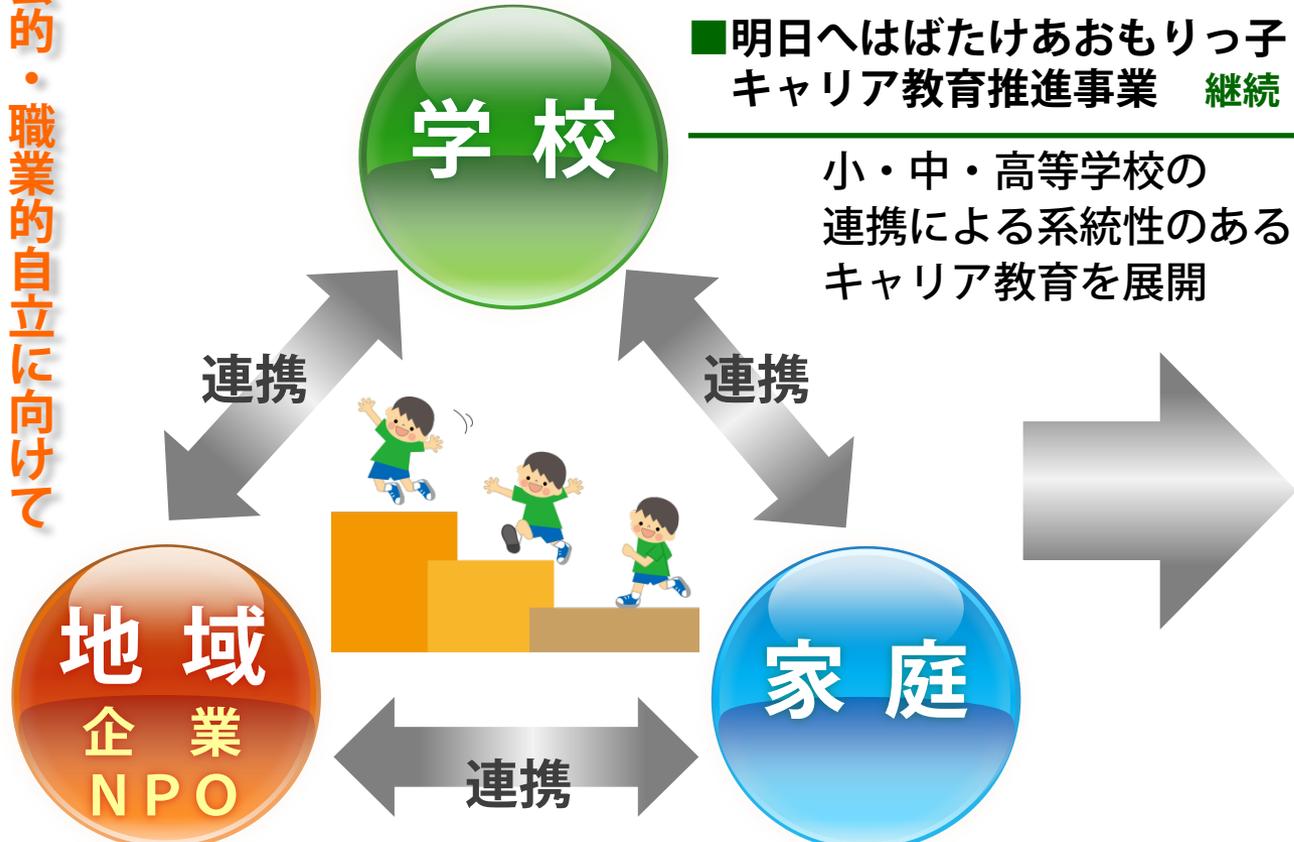
高齢化や人口減少社会に対応していくため、「絆」という原点に立ち、人財育成と地域力の再生・強化に取り組む

2 国内外に情報発信 7.7億円

安全・安心を確保するための徹底した取組と併せて、自然、食、文化などの青森県の魅力を国内外に強力に発信する

学校・地域・家庭の連携で進めるキャリア教育

社会的・職業的自立に向けて



■明日へはばたけあおもりっ子
キャリア教育推進事業 継続

小・中・高等学校の
連携による系統性のある
キャリア教育を展開

■地域ので夢を育む教育支援
プラットフォーム事業

企業・NPO等と学校を結ぶ
仕組みを構築して、キャリア
教育を展開・支援

■子どものキャリア教育を育む
家庭のチカラ推進事業

家庭での啓発キャンペーン、
子ども職場参観日など、
多様な実践を展開

めざす姿

子どもたちが、

将来、自立した社会人・
職業人として必要となる
資質・能力・態度を身に
つける

本県の未来をつくる
創造性やチャレンジ
する心を持った人財
の育成

農山漁村「地域経営」担い手育成システム確立事業（58,425千円）

現状と課題

人口減少社会の到来

これから5年間で急速な担い手減少が進行する見通し

地域経営システムの確立

地域の担い手は地域自らが育てあげる

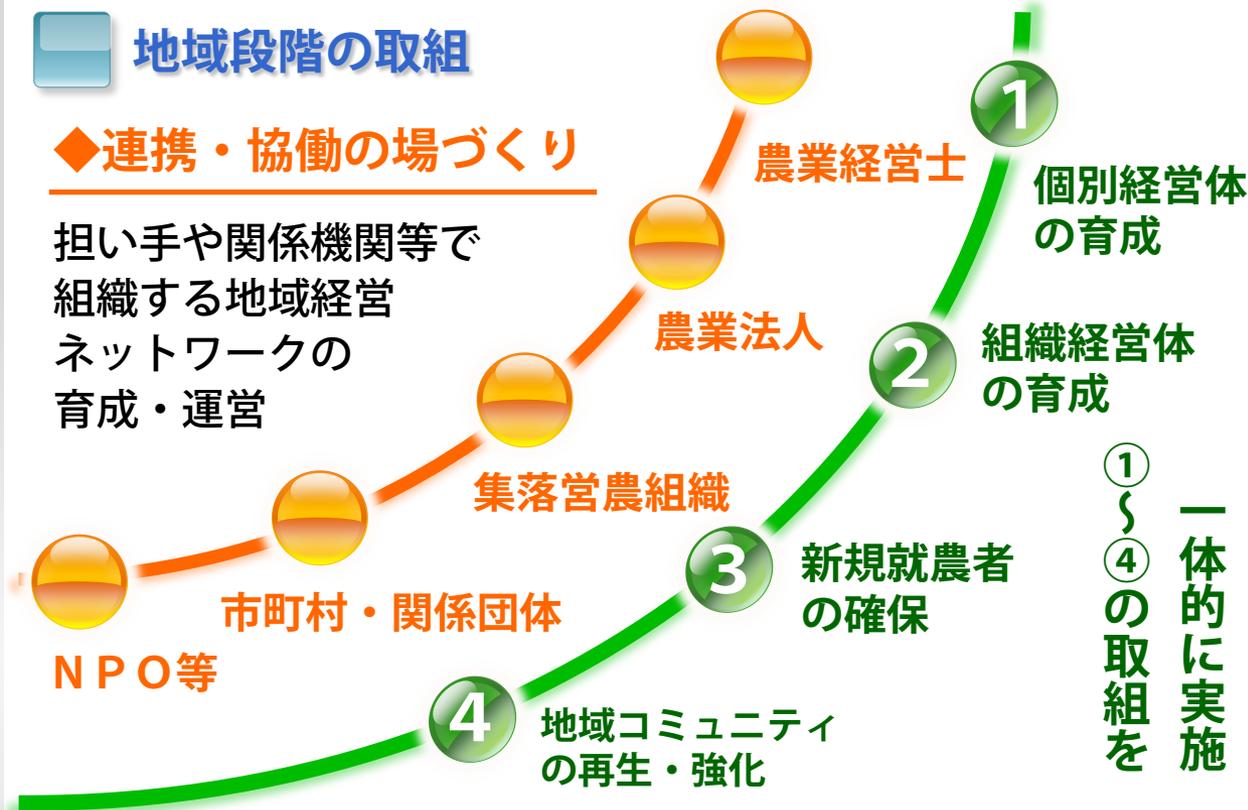


農山魚村・農林水産業の持続的発展

地域段階の取組

◆連携・協働の場づくり

担い手や関係機関等で組織する地域経営ネットワークの育成・運営



県段階の取組

若手農業トップランナー塾の運営、集落営農組織の育成など

地域を支援

◆地域提案型事業の実施

地域の実情に応じた目標を設定し、中長期的な視点で人財育成の取組を実施

中京圏との交流拡大

■青森・名古屋線定着促進事業

中京圏の魅力発信
TV番組放送

FDA就航1周年記念
イベントin青森

FDA利用促進
キャンペーン等

県内での取組



■観光客誘致総合推進事業（一部）

FDA就航1周年記念
イベントin名古屋

名古屋地区ローカル番組
による観光PR

FDA機内誌タイアップ広告

旅行エージェントへの
セールス強化

中京圏での取組

■中部エリア販路拡大推進事業

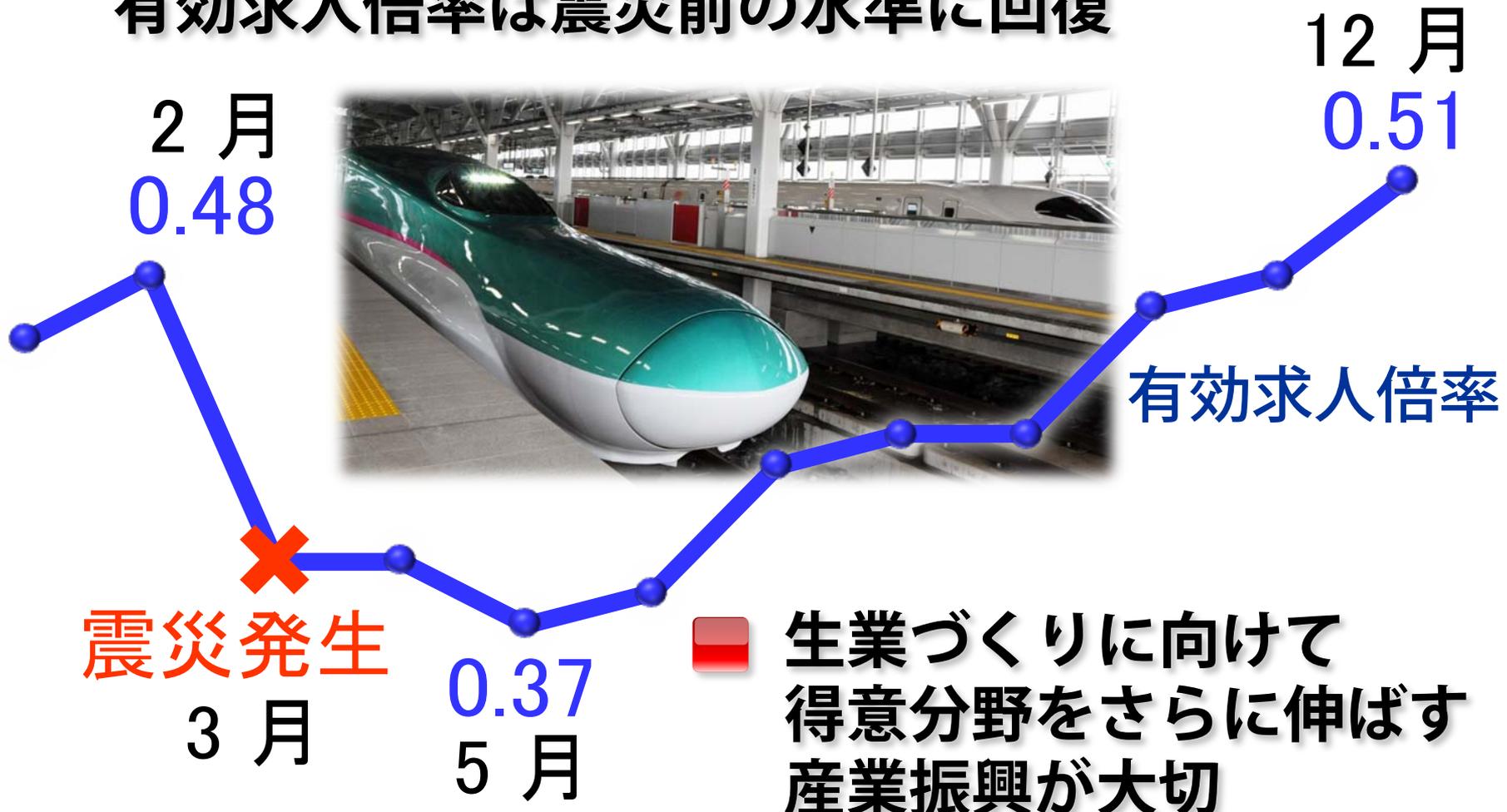
アンテナショップ
の開設・活用

イベントでの
食文化のPR等

3

雇用の創出・拡大

雇用環境は依然として厳しいが、有効求人倍率は震災前の水準に回復



1 地域産業の活性化 56.8億円

中小企業の生産改善や創業・起業の支援、企業誘致の強化、観光コンテンツの磨き上げなどに取り組む

2 農商工連携による食産業のステップアップ 0.8億円

農商工連携のもと、食産業の立地促進や植物工場のモデル実証・県内企業の参入支援などに取り組む

3 食産業を支える販売・生産体制の強化 9.2億円

地域の特性や優位性を生かした農林水産物の生産基盤強化と県産品の販売促進などに取り組む

低炭素型ものづくり産業振興事業 (49,625千円)

現状と課題



1 求められる地球温暖化対策

→ ものづくり産業にも貢献が求められる

2 震災による電力供給不足



→ 国内企業の生産拠点は海外へ移転
本県企業は技術開発型企业に展開を

今後の目標

低炭素社会づくりに
貢献する技術開発が
必要



事業内容

1 産学官金連携体制のより一層の強化

企業、大学、行政、金融機関によるネットワークを育成し、技術基盤の強化を図る

2 支援制度の拡充

首都圏企業などのマッチング支援や国の研究資金の獲得支援により、域外連携や競争力強化を図る

3 研究開発拠点機能

公設試験研究機関との共同研究を通じた企業の技術力向上を図る

- ✓ マイクロプロセッサシステムの開発
- ✓ LNG冷熱の活用に向けた研究開発

4 イノベーションを創出する経営基盤の構築

基盤技術や専門技術の人財育成、経営者の意識改革と生産改善活動の普及を図る

食産業力の充実・強化に向けた取組

■ H23年度までの取組

マッチング支援
商品づくり支援
既存施設の利用促進
企業誘致など

H23年度の実績

500件超の相談に対応

相談内容の多くが連携先の紹介を求めるもの

200超の商品開発を支援

県内企業の食産業に対する意識が高まっている

3件の食品製造業を誘致

地域資源を活用した雇用の創出につながっている



外貨獲得

域内循環の強化

加速

確かな手ごたえ

生産指数は上向き

■ 食品産業力強化対策事業

農林水産業と食品産業を結ぶ中間加工の集積がカギ

H24年度取組

県内企業の投資意欲を喚起

- ✓ 県内企業の販路確保に向けた大手食品メーカーとのマッチング支援
- ✓ 中間加工部門の県内集積に向けた戦略の策定

中間加工部門等の集積を図り、県内から付加価値を逃がさない産業構造の体質強化をめざす

■ 県民が安んじて暮らせる
社会づくりのため、命を
守る仕組みづくりを



■ 厳しい雇用情勢に対応
したあらゆる角度からの
就労支援



- 1 健康力の向上 16.1億円**
がんや生活習慣病対策、医師確保対策、保健・医療・福祉の包括ケア体制の強化などに取り組む
- 2 健やか子ども支援 8.8億円**
子どもたちがすくすくと元気に育つ仕組みづくりに地域ぐるみで取り組む
- 3 就労支援 12.3億円**
若年層の就職定着や正規雇用化、中高年の就職支援、障害者雇用の促進に取り組む
- 4 安全・安心な生活環境づくり 19.1億円**
子どもから高齢者や障害者まで、県民が安心して暮らせる環境づくりに取り組む

あおもりの未来をつくるヘルスリテラシー定着事業

(24,175千円)

ヘルスリテラシー

Health literacy

健康教養

健康情報や医療情報を適切に
利用し、活用する力

■糖尿病対策を切り口とした
ヘルスリテラシー定着事業

地域の健康課題の明確化

- ✓ 糖尿病等関連データの分析
- ✓ 住民への分析結果の還元

療養体制の強化

- ✓ 糖尿病医療の連携体制の構築
- ✓ 管理栄養士等による療養指導の充実

県民への意識啓発

- ✓ メディア等を活用した「健康教養」
向上のための普及啓発
- ✓ 健康教育サポーターの確保・育成

健康意識向上とよい生活
習慣の獲得に向けた

連携・協働

子どもの
肥満防止

糖尿病の
予防・改善

食育の推進

■あすなろっ子健康生活改善
大作戦事業

肥満傾向の高い地域でのワーク
ショップや、食事コンクールの実施

健康カレンダーの作成や子どもの
体力向上コンテンツの実施

■きずなを深める
食育の環推進事業

あおもり食育サポーターによる
食育活動

食育普及イベントの実施や、
関係者への助言・指導

健康寿命の延伸



救急医療体制の充実

平成24年10月を目処に運航開始

■ 出動要請件数

21年度 257件

22年度 394件

23年度 426件
(12月まで)



弘前大学医学部附属病院

高度救命救急センター

ICU増床整備



青森県立中央病院
救命救急センター



八戸市立市民病院
救命救急センター

ドクターヘリは2機体制へ

地域別計画推進事業

東青地域県民局

北海道新幹線「奥津軽駅」開業を見据えた戦略事業など 27,401千円

下北地域県民局

下北教育旅行受入体制構築事業など 18,965千円

西北地域県民局

津軽半島観光アテンダント推進事業など 27,041千円

上北地域県民局

十和田湖観光推進広域連携事業など 20,782千円

中南地域県民局

中南地域・着地型広域連携観光推進事業など 19,006千円

三八地域県民局

三八地域震災支援マッチング事業など 74,032千円

この他、市町村元気事業 3.0億円

東日本大震災関連経費

震災復旧・復興関連経費の総額 276億円

特別保証融資制度貸付金(震災関連分346億円)を含む総額623億円

公共事業関係費 140億円

- 一般公共事業 80億円
- 災害国直轄事業負担金 36億円
- 国直轄事業負担金 19億円
- 下北地域広域避難路確保対策事業 5億円

その他の経費 136億円

- 東日本大震災復興基金事業 3億円
- 東日本大震災復興推進基金事業 13億円

- ・被災者住宅再建支援事業費補助 5.4億円
- ・防災公共推進関連事業費 1.5億円
- ・特別保証融資制度「災害復旧枠」利子補給・保証料補助 2.7億円

- 緊急雇用創出対策事業(震災対応分) 63億円
- その他復旧・復興関連経費 57億円

- ・再生可能エネルギー等導入推進事業費 20.1億円
- ・東日本大震災災害廃棄物処理促進事業費 10.4億円

「青森県基本計画未来への挑戦」は、いよいよ総仕上げのとき

2009年度→2013年度

2012年度

種をまき、
育ててきた取組の

開花へ 
